

【プログラム1 吹奏楽部演奏】



3年生のラスト演奏

合唱コンクール

～クラスのカラーが見えました～



1の1「この星に生まれて」



1の2「Believe」



2の1「チェリー」



2の2「さくら(独唱)」



3の1「遙か」～迫力ある歌声でした“感動”～

文化・芸術にも『超戦』

先月の二十三日(金)に、文化祭を開催しました。感染症対策として、ステージ発表はリモートで教室から鑑賞という形をとり、保護者の方々には自分の学年の合唱のときに体育館に入場してもらいました。

体育館からのリモート中継は初の試みでした。吹奏楽部の演奏や各学級の合唱等が教室でうまく聞こえるのか、会場の消毒作業の時間を入れて、発表の時間がうまく確保できるか等の心配がありました。当日の発表は心配を吹き飛ばすような素晴らしいものでした。

ステージ発表は、オープニングの吹奏楽部演奏に始まり、二年生二名による「少年の主張」、各クラスによる息の合った「合唱コンクール」、午後から「特技発表」、「エンディングムービー」を行いました。



吹奏楽部によるオープニング演奏
～さあ、始まるぞ!～

「少年の主張」は、中尾彩楓さんが「自分でできること」というテーマで、

新型コロナウイルスの予防を今まで以上に徹底していきたいと思いを述べ、

「少年の主張」を聞いて

トルで、新型コロナウイルスの対策について語りました。若本佳さんは「個性とあたり前」というタイトルで、「個性」について考えたことを発表しました。



発表した若本さん・中尾さん

ようなこと、そしてそれが決まらないから差別するのはいけないと感じました。

合唱を通した

クラスのまとめ

合唱コンクールを行うにあたり、各クラスのパートリーダーを中心に、朝・夕と昼休みに練習に取り組んでいました。クラスで目標を決めた。

合唱を通して、みんなで取り組むことの楽しさや、ぶつかり合っても思いを伝え、一つのこと、にみんなで取り組むことの大切さを学びました。

練習に取り組んでいました。初めのうちは意見がぶつかり合い、うまくいかないこともありましたが、練習を重ねるごとにクラスがまとまり、きれいなハーモニーになっていきました。



最優秀指揮者賞の3年河瀬さんと最優秀伴奏者賞の志水さん



訓自
英知
鍛錬
校訓

宇城市立三角中学校
学校新聞
令和2年11月12日
編集代表
校長 大槻 晋

展示の部

- ◇書道
- ◇家庭科(マスク、幼児のおもち)
- ◇美術(1年提灯、2年惣菜サンプル、3年トリック絵画)
- ◇理科発明工夫
- ◇青空学級作品(写真立て)

特技発表～みんなすごいパフォーマンスでした～

